

令和 7 年度 第 1 回 亀山市図書館協議会 会議録

日 時 令和 7 年 5 月 29 日(木) 午後 2 時から午後 4 時 07 分まで

場 所 亀山市立図書館 1 階 多目的室

出席委員
岡野 裕行委員
井戸本 吉紀委員
井上 香代子委員
川口 恭子委員
原 美津子委員
岩田 温子委員
木島 史雄委員
服部 智貴委員

欠席委員
下重 智子委員
安田 正委員

事務局
亀山市教育委員会
教育部長 大平 守
図書館 館長 高重 京子
図書館 主幹 山川 美香
図書館 主任主査 大川 真梨子
図書館 主査 佐々木 孝英
図書館 主事(司書) 天野 史菜

■開会

【事務局】 令和 7 年度第 1 回 亀山市図書館協議会を開催する。

本協議会は、「亀山市立図書館条例」に基づき開催する。

【事務局】 事務局の職員体制に変更があり、新教育部長に大平 守が就任した。

【教育部長】 (あいさつ)

(資料の確認)

【事務局】 事項書に基づき、会議終了は 15 時 30 分を目途に進めさせていただく。

1.委員の委嘱

各委員へ委嘱状の交付と、委員の自己紹介。

2.教育長あいさつ

【教育長】 (あいさつ)

3.会長、副会長の選任について

【事務局】 委員の過半数の出席により、本協議会は成立することを報告する。

会長が決まるまでの間、館長を仮議長として進行させていただく。

【館長】 会長、副会長の選出を行う。委員の互選によるが、推薦や立候補がない場合、事務局案を提示させていただく。(推薦、立候補なし)

【事務局】 第1期と同様に岡野委員に会長を、井戸本委員に副会長をお願いしたい。

【一同】 異議なし。

【岡野会長】 (あいさつ)

【事務局】 ここからの進行については、亀山市立図書館条例施行規則第7条第2項の規定により、岡野会長にお願いする。

4.報告事項

(1) 令和7年度子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰の受賞について

【事務局】 事務局より説明

【井戸本副会長】 表彰を受けたことを館内に掲示はされているか。外部からの表彰は、評価の価値という面でも、見える場所に出しておいた方が良い。

【原委員】 亀山絵本と童話の会も20年ほど前に文部科学大臣表彰を受けている。もし飾るのであれば、自分たちの賞状も、同じ場所に飾ってもらえないか。亀山市のボランティア団体が同じく表彰されていることが伝わると良いと思う。

【岡野会長】 表彰の受賞理由にボランティアの活動も入っているため、一緒に飾っても良いのではないかな。

【事務局】 今後、館内に掲示させていただく。

【井上委員】 ボランティア、学校図書館との連携のほか、キットテラス亀山団地管理組合、郵便局、亀山駅等、近隣の多くの人との関わりで受賞できたと思われる。今回の表彰を受けたことを、ぜひニューステター等で発信してほしい。

(2) 令和6年度亀山市立図書館の運営状況について

【事務局】 事務局より説明

【原委員】 めざす姿の中に「図書館ボランティアが図書館職員とともに目的を共有」とあり、今後の対応に「図書館が主体となって実施する活動と、ボランティアに担ってもらうことを区分し」とあるが、ここは「区分」という言い方ではない方が良い。ボランティアと図書館が一緒に活動していくと受け取れるよう、違う

表現にできないか。

【事務局】

意見を反映し、修正させていただく。

【服部委員】

亀山市は 5 万人都市で、年間来館者数 27 万人、一日平均で900人来館しているが、これは多い方か。

【井上委員】

各図書館によってカウントの仕方が違うものの、増加しており誇れる人数である。

【服部委員】

それだけ注目を浴びていて、市内の認知度も高いことの表れかと思われる。資料の中のアンケート結果にもあるが、イベントの年間計画はあったほうが良い。一覧でイベントが見える方が参加もしやすい。

また、実施されたイベントの中で特にバレエのイベントが良かったと思っている。亀山市立図書館の強みは、読み聞かせを行う団体が多く、図書館活動の基礎がしっかりしているところだと考えている。だからこそ、文化に関する他のイベントにも力が注げるのだろうと考えられる。利用者の学びにつながるのだから良い。今年度も、ジャズのイベントが開催されると聞いた。アンケートを見る限り、音楽イベントには賛否あるかと思うが、個人的には良いと思う。1 階 2 階で交流イベントを開催するのは、1 階 2 階はそういう空間なのだと理解いただくのに有用であると感じる。

また、イベントで対象にする地域を亀山市から三重県まで広げて、他市交流してみても良いのではないかと。文化交流を広げていくのも良いかと思われる。

【事務局】

イベントの年間計画については、団体との日程等の調整に時間を要している現状があり難しいが、周知できるものは早めに発信したい。

バレエのイベントは亀山市在住の方が、ご提案いただいた企画である。服部委員の関わる TRPG やボードゲームのイベントなど、若い人の参加が多いイベントもある。今後もこうしたイベントを行っていく予定である。

【川口委員】

学校関係で見ていった際に、評価項目の今後の対応に「周知が大事」とたくさん記載がある。広報に関して、図書館のホームページが見つらいことが問題である。市のホームページにリンクを貼って、図書館だけ独立した形であっても良いのではないかと。

どこに何の本があるかがわかる館内マップがあると良い。

自動貸出機・検索機が各階にあると良い。

【事務局】

検索機は各階に、自動貸出機は 1 階から3階にある。

【井戸本副会長】

入館者数について調べたところ、三重県立図書館よりも多いくらいの統計である。何より令和5年度から入館者数が減っていないことがすごいことである。

今後の対応にある「予算緊縮」について、イベントに来てもらっても本が新しいものがないと来館者数は減少するため、図書購入費はしっかり確保してほしい。

市の予算のほか、雑誌スポンサーの更なる獲得も考えて積極的に動いていく

方が良い。

亀山高校との連携は今後も進めていってほしい。学校連携展示は、生徒の来館理由にもなる。小学校の展示等も増えると良い。

パスファインダー作成や、レファレンスのデータベースへの事例蓄積について、これらは市の資料として大事になる。レファレンスの件数が増えてきたのであれば、何らかの形で活用を考えていけると良い。

アンケート結果のグラフが以前と比べて見やすくなった。今後も常にこういった形で分析評価していってほしい。

【事務局】

昨年度も予算緊縮の話を出している。予算緊縮にあたっては、業務委託料や施設管理費、消耗品費から削減することを考え、図書資料費の削減は職員としても最終手段と認識している。

雑誌スポンサーについて、今後は他にも声をかけていこうと考えている。

高校との連携としては、今年度は徳風高校の新生が一括で図書館利用カードの登録をし、館内見学に来てもらった。今後も連携していきたい。

パスファインダーの更新はできなかったため、今後増やしていかなければならないと認識している。パソコンでの検索が難しいという意見もいただいているため、パスファインダー等でそれを補っていければと考えている。

レファレンスデータの事例蓄積については、今後活用をしていく。レファレンスに当たっては、歴史博物館との連携もしており、遠方からのレファレンスへの対応もあるため、そういった点でも活用していければと考えている。

【木島委員】

入館者数について、一例として、大学図書館の入館者数は「スマホの充電ができる」と広報すると、増える傾向にある。入館者数を提示することは、図書館の予算を減らさないための手段になる。

アンケートについては、館内利用者に限らず、亀山駅でも行くと、若い人の意見が拾えるのではないかと。「市立図書館は市民でないと利用できない」と思っている市外在住の高校生もいる。駅まで活動範囲を広げると関心も持ってもらえて、図書館へのアクセスが増えると思われる。

アンケート回答数を増やすためには、アンケートに答えるインセンティブがあった方がよい。

テナントにコンビニ等のお店が入ると、より来館者数が増えるのではないかとと思う。

【事務局】

スマホの充電については、図書館の案内の際にも取り入れたりしている。若い人には、まずは来館してもらうこと、知ってもらうことが大事と考えている。

駅の利用者にアンケートの対象を広げる案については、参考にさせていただく。

テナントはキットテラス亀山団地管理組合が管理している。賃料の折り合いや、図書館の横にふさわしい内容かどうか等の理由で、店舗が入っていないと聞いている。

【井上委員】

入館者数が伸びているのは良い。また、寄贈資料の登録冊数も増えている。「ひみつ本の更新回数」等が今後の課題と言える。

雑誌スポンサーの事業者へ、文部科学大臣表彰を受けたことや入館者数が伸びていることなどを語り、アピールすると、スポンサーの協力もいただきやすくなると思う。

広報活動について、図書館でやっていることの情報は新聞から得ることが多い。シビックプライド、スタッフプライドの観点からも、メディアへの露出として、意識してみると良い。

電子図書館の閲覧回数については、学校関係で増えたことがよくわかる。まんがコーナーの閲覧数が気になる。一定のルールの下、手に取りやすいまんがを置くことで、若年層の来館のきっかけや、待ち時間に活用してもらうように工夫した経緯があるので、いつも同じ本ではなく、入れ替えも検討いただきたい。

【事務局】

新聞については、今年度の「子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」に関して朝日新聞等の取材があった。

まんがコーナーは現在入れ替え中である。

令和6年度亀山市立図書館運営評価については、今回の意見等を踏まえて事務局で修正し、8月定例教育委員会の、教育に関する事務の点検・評価説明を終えた後に、図書館ホームページで公開する予定である。

(3) 令和7年度事業計画について

【事務局】

事務局より説明

【原委員】

自分の所属する図書館ボランティア団体からの意見である。創作童話コンクールは、メンバーの高齢化や人材不足の進むボランティア団体から図書館にうまく橋渡してきた良い例と言えるのではないかと。これをきっかけとして、団体と一緒に活動しつつ、様々なことが図書館の事業として組み込まれていったら良いと思う。

【岩田委員】

市内でも離れた位置に住んでいる等の理由で、なかなか来館が難しい人もいる。そういった人に読書の機会を届けるのも図書館の仕事として、まちづくり協議会や福祉施設への働きかけを行い、地域読書活動拠点の取り組みを進めてほしい。

【事務局】

創作童話は、たくさんの方にご応募いただいている。

地域読書活動拠点の事業を進めていくにあたり、まちづくり協議会とも協議しているが、想定していた図書をユニットとして届ける方法は、管理が難しいという話があったことから、リサイクル本の利用等を含めて提供を考えている。加太駅等引き続き協議しており、今年度中に着手していきたい。

関図書館も、月に2回ほど司書が訪問し、図書の整理をしている。貸出の形ではないが、ボランティア団体のおすすめ本展示や本の入れ替えを行ってい

る。

- 【岩田委員】 関図書室の充実はとても良い。関だけでなく、ぜひ他の拠点へも広げていてほしい。

(4) 亀山市子どもの読書活動推進計画(第4次亀山っ子読書推進プラン)

実績・進捗状況表について

- 【事務局】 事務局より説明
- 【服部委員】 イベント等の周知について、亀山駅の協力の下、亀山駅利用者への働きかけをすると良いと思われる。特設でコーナーを作ってもらうことは難しくとも、ポスターを貼ってもらう等は可能ではないか。
- 【事務局】 亀山駅構内に掲示することは難しいと聞いているが、待合スペースにポスター掲示をお願いしたことは以前にも数回ある。
- 【木島委員】 市内には加太、関、井田川、下庄の駅があるので、ぜひそちらにも広報を広げると良い。

(5) 亀山市図書館サービス計画の進捗状況について

- 【事務局】 事務局より説明
- 【一同】 質問・意見なし

5.その他

- 【木島委員】 図書館活動を示す資料の中で、小中学校の読書活動の充実が分かる。その上で、最近の大学図書館の役割と比較した意見として、図書館が本を読むだけの場所ではなく、情報リテラシーの助けをする場所、情報の拠点という視点を取り入れることも必要なのではないか。紙の本やタブレットの提供に限らず、例えば情報検索のやり方の説明、調べ方のレクチャーを図書館で行うと良いのではないか。
- 【事務局】 来館しても3階のレファレンスやデータベースコーナーを知らない利用者も多い。図書館で調査研究ができること自体を知らない若年層も多い。今後、参考資料や情報の更新も含め、対応していく。
- 【井戸本副会長】 ウィキペディアタウンを開催しているのは良い。地域の情報を図書館資料に基づいて調べて書き込むイベントであるため、労力がかかる。以前の開催では地域の高校生の参加もあったかと思うが、探求学習等で、テーマに沿って調べる際に、学校の図書館だけで足りない資料は、市立図書館の資料を利用するなど、学校図書館との連携をしていくと良い。
- 【事務局】 次回は令和7年10月頃の開催を予定している。
図書館サービス実施計画の改定についても、蔵書計画同様に上位計画に合わせて期間延長を行う形で、文言等の整理などの改定を予定している。

次回の協議会では、図書館サービス実施計画の骨子案等を提出させていただく。

【閉会】